

ヤマブドウの高品質果汁系統を選抜

1 研究のねらい

県産ヤマブドウの優良品種を開発する目的で選抜試験を進めている。平成10年に多収性系統として4系統選抜したが、今回は県工業技術センターと共同で高品質果汁系統の選抜を行った。

2 研究方法と結果

調査対象は、岩手県林業技術センター矢巾試験地に植栽している12系統とした。個体ごとに収穫し、圧搾した果汁の糖度と酸度を測定し系統ごとの平均値で比較した。

その結果、「江刺」は平成8年から平成11年まで年によってばらつきがあるものの、糖度16.7度から19.2度であり、収穫目安とされている糖度14度（葛巻町発行「山ぶどう栽培暦」参考）を大きく上回った（図-1）。いずれの年も他の系統と比較して安定的に高い値を示した。一方、酸度は他の系統に比べて低い値を示し（図-2）、酸味の少ない果汁が得られた。

3 成果の活用

今後は品種登録申請を行うとともに、ヤマブドウ現地適応化栽培試験により地域別の調査を行う予定である。また、高品質果汁を原料とした新商品の開発を行う予定である。

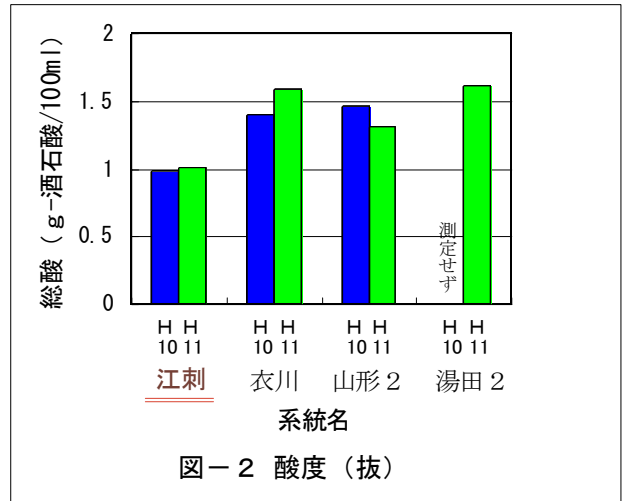
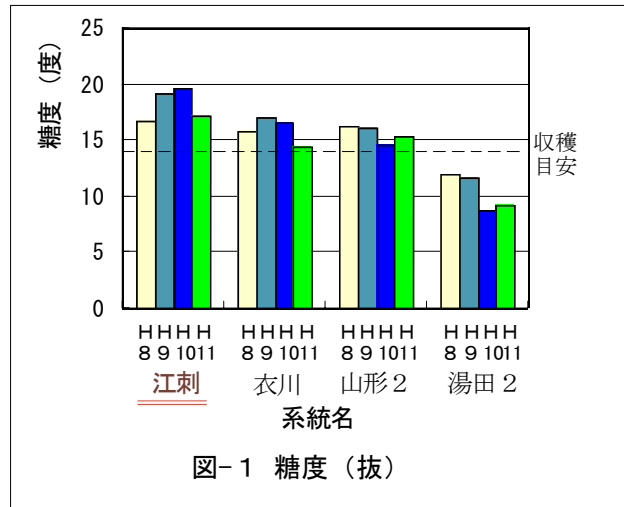


写真 「江刺」の生育状況



写真 「江刺」の結実房

(共同研究者 工業技術センター 専門研究員 平野 高広)
(担 当 特 用 林 産 部 専門研究員 泉 憲裕)

連絡先 028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水560-11 TEL 019-697-1536
岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>